



①司会
東部学園初石学園
汲川専門員



②講師
田村（哲） 副理事長

映像でめぐる初石地区のあゆみ ゆうゆう大学初石学園講座 レジメ
2021・10・28（木） 9:30～11:30 講師 田村哲三
はじめに

1、旧石器時代

流山には約3万年前から人が住んでいた（69遺跡）その当時は寒冷化の時代
この周辺の平均気温6度、今より7度も低く北海道十勝と同じ 樹木は針葉樹林
ドングリなどの実がない、動物も少ない
食糧難 移動生活 市内で最も古い遺跡 桐ヶ谷新田遺跡、若葉台遺跡

2、縄文時代

13000年前から 縄目のついた土器 市内140の遺跡（増加する）1万年
ごろから前温暖化、6千年前ピーク 縄文海進（市内の低地は海の入江）海、山
の食料が豊富 集団で定住 貝塚ができる
市内の貝塚22 大規模貝塚（上新宿貝塚・上貝塚貝塚） **千葉県は0だった**

3、弥生時代

2300年前から 寒冷期（海が後退 食糧難）海の入江は湿地帯に 稲作の伝来
流山には弥生時代の遺跡が少ない 大畔小学校建設で弥生の遺跡

4、古墳時代

初石周辺では発見されていない

5、奈良時代～平安時代～鎌倉時代

稲作が定着 江戸川流域まで広がる 住居も江戸川流域近くの高台へ 万葉集 葛飾の歌
「鳩鳥（におどり）の葛飾早稲をにえすともその愛（かな）しきを外にたてめやも」

6、戦国時代

花輪城址公園（戦国後期築城、小金城の支城） あさねぼう観音（琵琶首観音）の民話

7、江戸時代

利根川の東遷と新田開発 小金牧（台地の原野に野馬を放牧） 小金牧の新田開発と新田村
野馬土手、オランダ観音 **馬の払い下げ** 柏市との境界が入り組んでいるわけ
日光東往還（日光街道）と大名行列 日光社参
村単位の生活 村三役 寺請制度（檀家と人別帳）
米を運ぶ馬 米俵1俵は〇斗 重さは〇貫 馬の積載重量は36貫（135kg）

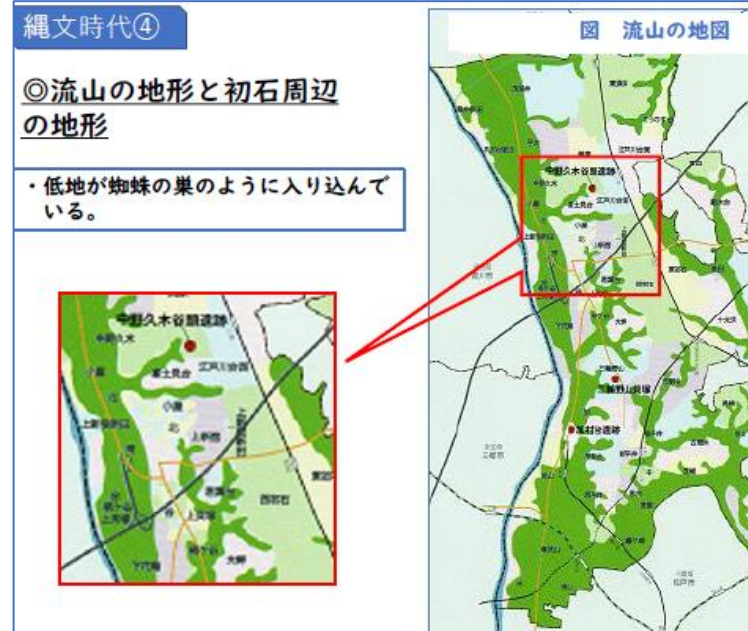
8、明治時代～

県の誕生と県庁 印旛官立共立学舎と南小学校（不動堂、男47人、女9人） 実際には途中退学
童謡「赤とんぼ」 籾木学校 明治22年、町村合併（村新川村、八木村、流山町誕生） 初石周辺では
青田新田、十太夫新田、駒木新田、初石新田、大畔新田が八木村になる。
明治44年、東武野田線開通、初石駅（市内で最も便利） 昭和26年、江戸川町（流山町）
常磐高速道開通、TX開通（遺跡の発掘）

*赤字はクイズ出題



③講義 初石周辺の遺跡、初石周辺の地形



- ・ パワーポイントで講義 (田村副理事長)
- ・ ゆうゆう大学初石学園、受講生 (32名)
- ・ ゆうゆう大学公民館 専門員 (3名)

予定外の地球の温暖化や関東沈没の話に、特に学生の関心が高かった。



④受講生

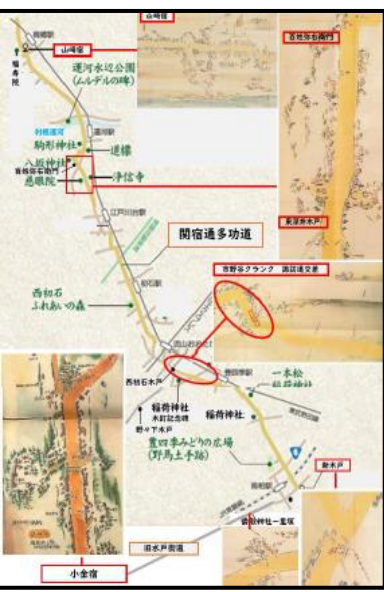


⑤講義 利根川の東遷

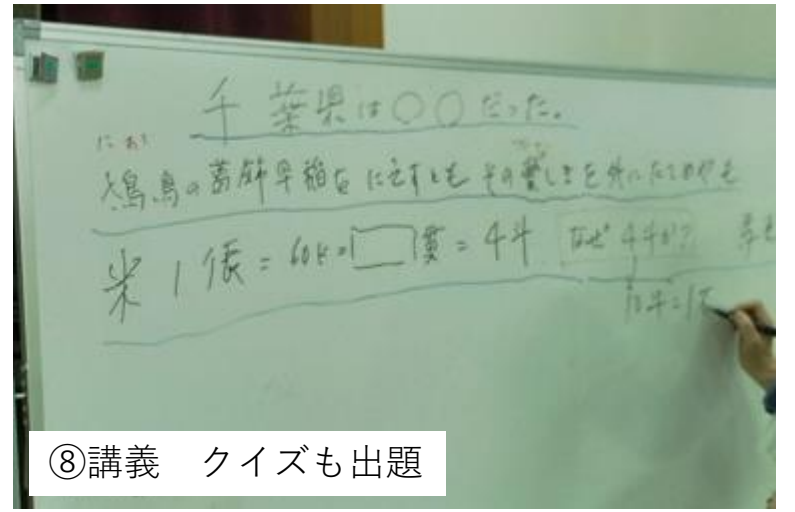


⑦講義 ホワイトボードも併用して説明。熱心に聴き入る受講生

⑥受講生



⑥講義 東往還



⑧講義 クイズも出題



⑨初石周辺の昭和の
写真等
(休憩時間を利用した
オートスライドショー)



⑪公民館 3名
石橋専門員(3班石橋幹事)
秋山専門員、汲川専門員



⑫質疑等



⑩受講生